

第206回経営経済動向調査

～2023年10～12月期実績と2024年1～3月期及び4～6月期予想～

< 目次 >

調査概要等について	1 頁
I 国内景気動向の概要	2 頁
II 自社業況（総合判断）の概要	3 頁
III 企業経営動向 概要	4 頁
IV 当面の経営上の問題点	7 頁
V 企業の現況	8 頁
VI 企業からのコメント	9 頁
<付帯調査>	
VII 新卒採用活動について	10 頁
VIII 雇用・人材確保について	12 頁
巻末資料	16 頁

2023年12月 京都商工会議所

調査概要等について

<調査概要>

■ 調査目的：京都府内における短期的な景気動向を把握するため

■ 調査時期：2023年11月15日～12月4日

■ 調査対象時期：実績（見込） 2023年10～12月期
 予想 2024年1～3月期
 2024年4～6月期

※ それぞれ直前四半期との比較による。

ただし、自社業況の各項目の内、製・商品在庫は適正水準比

■ 調査内容：① 国内景気、自社業況の各実績と今後の予想
 ② 当面の経営上の問題点
 ③ 付帯調査

■ 調査対象：京都府内に本社、本店等を有する企業506社
 [製造業・建設業・不動産業・運輸・倉庫業は資本金3億円超、
 卸売業は1億円超、小売業・サービス業は5千万円超を大企業とした。]

■ 回答企業数：323社（回答率63.8%）

■ 調査方法：郵送によるアンケート方式

※ BSIとは、Business Survey Indexの略で、BSI値は景気全般の見通しについて、強気、弱気の度合を示す。

プラスならば「強気」・「楽観」を、マイナスならば「弱気」・「悲観」を意味する。（ただし、製・商品在庫は適正水準比）

$$BSI = \{ (上昇(増加、他)と回答した企業の割合) - (下降(減少、他)と回答した企業の割合) \} / 2$$

<回答状況>

	対象企業数	回答企業数	回答率(%)	回答企業の構成比(%)
総計	506	323	63.8	100.0
製造業	270	170	63.0	53.2
食料品	28	22	78.6	7.1
繊維	14	12	85.7	3.7
染色	10	4	40.0	1.7
繊維製品	12	5	41.7	1.3
化学・ゴム	25	15	60.0	4.7
窯業・土石	12	7	58.3	1.7
鉄鋼	8	5	62.5	1.3
非鉄	22	13	59.1	3.4
一般機械	24	20	83.3	6.4
電気機械	36	22	61.1	5.4
精密機械	19	12	63.2	3.4
木材・木製品	14	8	57.1	3.0
出版・印刷	26	14	53.8	6.1
その他製造業	20	11	55.0	4.0
商業	83	55	66.3	17.5
卸売業	62	43	69.4	12.8
食料品卸	19	13	68.4	2.7
繊維卸	18	14	77.8	4.0
機械金属卸	25	16	64.0	6.1
小売業	21	12	57.1	4.7
建設業	32	26	81.3	7.1
不動産業	13	9	69.2	3.4
運輸・倉庫業	25	20	80.0	6.1
サービス業	83	43	51.8	12.8
料理・飲食	18	7	38.9	3.0
旅館・ホテル	20	13	65.0	3.7
情報・事業	24	11	45.8	2.4
その他サービス業	21	12	57.1	3.7

I 国内景気動向の概要

国内景気BSI値は3期連続で上昇

～ 経済活動正常化や観光需要増加などにより、景況感の回復が続く ～

国内景気動向《実績（2023年10～12月期）》

・今期の国内景気BSI値は10.9（前期実績5.7）と上昇傾向を強め、3期連続での上昇となった。

・インバウンド回復に加え、国内観光客の増加や、経済活動正常化に伴う個人消費の更なる回復が期待され、運輸・倉庫業をはじめとした全ての業種で上昇した。

国内景気動向《今後の予想》

・今後の予想については、2024年1～3月期は0.2とほぼ横ばいで推移し、続く4～6月期には10.0と再び大幅に上昇する見込み。

国内景気動向

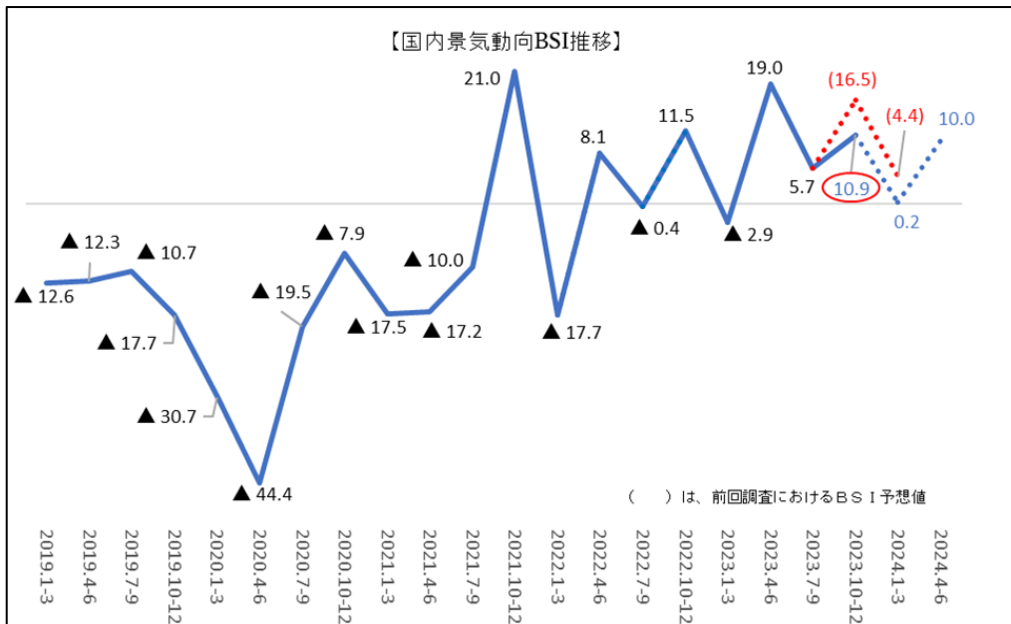
2023年10～12月期（実績） 10.9	2024年1～3月期（見込） 0.2	2024年4～6月期（見込） 10.0
--------------------------	-----------------------	------------------------

《業種別 2023年10～12月期BSI値》

・2023年10～12月期のBSI値は、運輸・倉庫業（22.5）、不動産業（22.2）、サービス業（18.6）をはじめ全ての業種で上昇した。今後の予測では2024年1～3月期に一部の業種で下降するものの、全体としてはほぼ横ばいで推移し、4～6月期にはほとんどの業種で再び上昇する見通し。

《規模別 2023年10～12月期BSI値》

・大企業（19.2）、中小企業（7.6）とも上昇基調で推移した。今後の予測では、中小企業にやや遅れが見られるものの、大企業、中小企業ともに持ち直し気味に推移する見通し。



国内景気	実績						予測						
	2023年7～9月期			2023年10～12月期			2024年1～3月期			2024年4～6月期			
	B.S.I	上昇	下降	B.S.I	上昇	下降	B.S.I	上昇	下降	B.S.I	上昇	下降	
総計	5.7	30.6	19.2	10.9	35.2	13.4	0.2	21.6	21.3	10.0	31.9	12.0	
業種別	製造業	4.2	27.9	19.6	7.1	30.2	16.0	▲2.1	16.7	20.8	11.0	33.3	11.3
	卸売業	12.3	40.0	15.5	13.1	42.9	16.7	▲1.2	26.2	28.6	9.5	35.7	16.7
	小売業	20.0	53.3	13.3	16.7	33.3	0.0	0.0	25.0	25.0	16.7	41.7	8.3
	建設業	▲1.9	15.4	19.2	3.9	15.4	7.7	7.7	23.1	7.7	0.0	11.5	11.5
	不動産業	▲11.1	11.1	33.3	22.2	44.4	0.0	16.7	33.3	0.0	12.5	25.0	0.0
	運輸・倉庫業	2.8	33.3	27.8	22.5	55.0	10.0	5.0	35.0	25.0	20.0	45.0	5.0
	サービス業	9.4	35.4	16.7	18.6	48.8	11.6	0.0	25.6	25.6	5.8	27.9	16.3
規模別	大企業	10.4	33.7	12.9	19.2	45.8	7.4	7.5	30.9	16.0	13.1	35.9	9.8
	中小企業	3.8	29.3	21.8	7.6	30.9	15.8	▲2.9	17.7	23.5	8.8	30.4	12.8

Ⅱ 自社業況（総合判断）の概要

自社業況BSI値は9.1と上昇に転じる ～ 年末需要などを受け小売業を中心に大きく上昇 ～

■ 自社業況（総合判断）《実績（2023年10～12月期）》

- ・ 今期の**自社業況BSI値は9.1（前期実績▲2.1）**と上昇に転じた。
- ・ 年末需要を背景とした消費、物流の活発化や、観光客を中心とした人流の増加が売上増につながり、特に小売業や運輸・倉庫業、サービス業などで大幅に上昇した。

■ 自社業況《今後の予想》

- ・ 今後の予想については、急速な需要回復による人手不足や、原材料（燃）料価格の高止まりなどによるマイナスの影響もあり、2024年1～3月期は▲3.5とやや下降するものの、4～6月期には5.0と、再び上昇する見通し。

自社業況（総合判断）

2023年10～12月期 (実績)	2024年1～3月期 (見込)	2024年4～6月期 (見込)
9.1	▲3.5	5.0

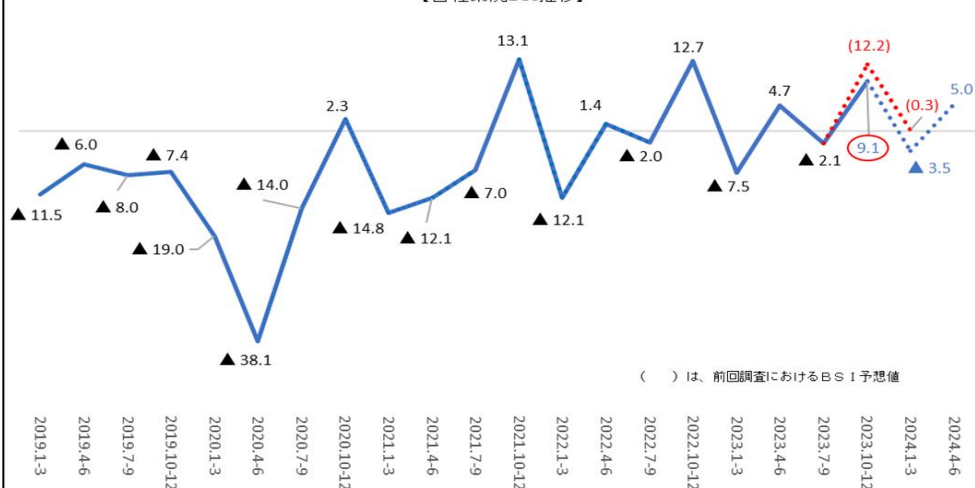
《業種別 2023年10～12月期BSI値》

- ・ 2023年10～12月期のBSI値は、卸売業（▲2.4）を除く全ての業種でプラスとなり、特に小売業では下降の回答がなく、45.9と大幅な上昇となった。今後の予測では、2024年4月～6月期にかけて、サービス業は上昇基調で推移し、それ以外の業種では一進一退で推移する見通し。

《規模別 2023年10～12月期BSI値》

- ・ 大企業（11.2）、中小企業（8.1）ともにBSI値は上昇した。2024年4～6月期にかけて、大企業は上昇幅を縮小しつつも上昇を続ける一方、中小企業は一進一退で推移する見通し。

【自社業況BSI推移】



自社業況 (総合判断)	実 績						予 測						
	2023年7～9月期			2023年10～12月期			2024年1～3月期			2024年4～6月期			
	B.S.I	上 昇	下 降	B.S.I	上 昇	下 降	B.S.I	上 昇	下 降	B.S.I	上 昇	下 降	
総 計	▲ 2.1	22.0	26.1	9.1	39.2	21.1	▲ 3.5	21.5	28.4	5.0	28.7	18.8	
業 種 別	製造業	▲ 3.9	19.0	26.8	7.3	37.6	23.0	▲ 4.2	20.1	28.4	4.2	26.8	18.5
	卸売業	4.5	33.3	24.4	▲ 2.4	31.0	35.7	▲ 8.4	19.1	35.8	2.4	28.6	23.8
	小売業	6.7	26.7	13.3	45.9	91.7	0.0	▲ 8.3	25.0	41.6	16.7	33.3	0.0
	建設業	▲ 6.0	20.0	32.0	1.9	23.0	19.2	3.9	19.2	11.5	▲ 11.5	7.7	30.7
	不動産業	0.0	20.0	20.0	5.6	22.2	11.1	11.1	33.3	11.1	▲ 11.1	11.1	33.3
	運輸・倉庫業	▲ 5.6	16.7	27.8	17.5	45.0	10.0	▲ 17.5	10.0	45.0	10.0	35.0	15.0
規 模	サービス業	▲ 1.1	24.4	26.6	17.5	48.9	14.0	4.7	32.6	23.2	18.7	48.9	11.6
	大企業	6.5	32.7	19.8	11.2	42.6	20.2	8.0	36.2	20.2	6.5	29.1	16.1
中小企業	▲ 5.7	17.5	28.8	8.1	37.7	21.5	▲ 8.2	15.4	31.7	4.4	28.6	19.8	

Ⅲ 企業経営動向 概要

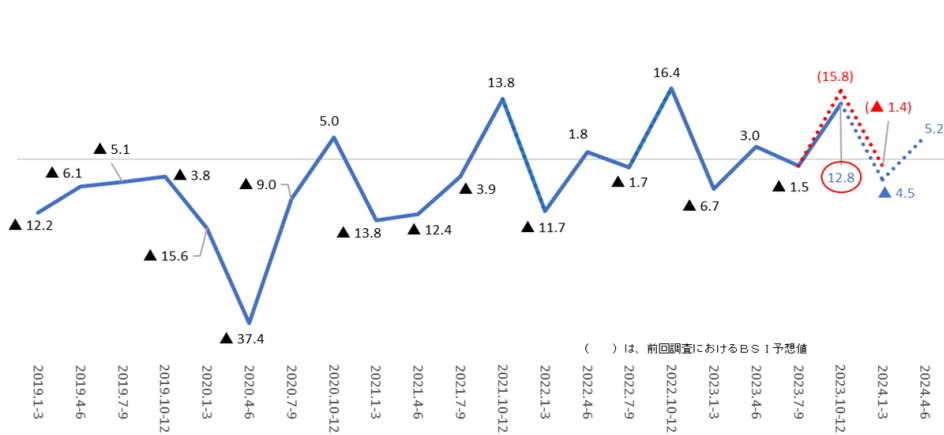
1 生産・売上高、工事施工高

2023年10~12月期(実績)	2024年1~3月期(見込)	2024年4~6月期(見込)
12.8	▲4.5	5.2

《2023年10~12月期BSI値》

- ・今期のBSI値は12.8と全ての業種で増加し、特に小売業(41.7)、サービス業(24.5)で大幅に増加した。
- ・大企業(16.5)、中小企業(11.3)とも大きく上昇した。
- ・先行きは、2024年1~3月期は▲4.5、4~6月期は5.2と、一進一退の推移となり、業種別では期待感に差が見られる。

【生産・売上高、工事施工高BSI推移】



()は、前回調査におけるBSI予想値

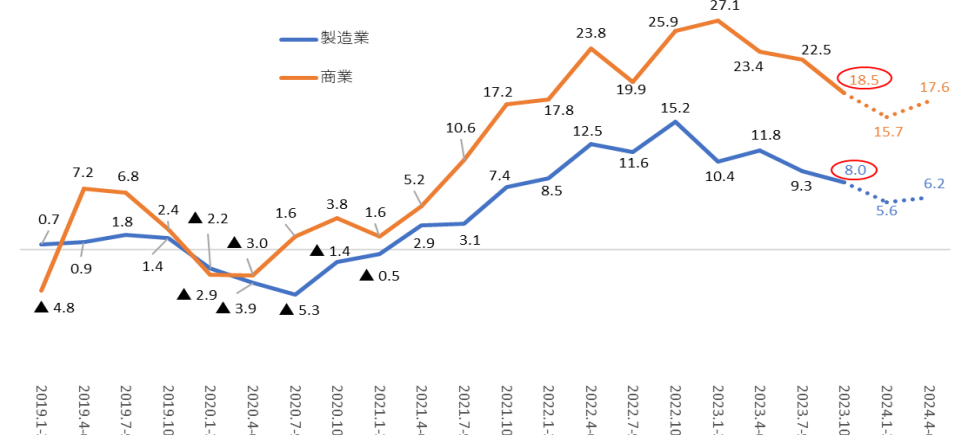
2 製・商品・サービス・請負価格

2023年10~12月期(実績)	2024年1~3月期(見込)	2024年4~6月期(見込)
11.9	7.3	9.7

《2023年10~12月期BSI値》

- ・今期のBSI値は、製造業は8.0、商業は18.5と、ともに上昇基調が続いている。
- ・業種別に見ると、小売業(20.9%)、サービス業(19.1%)、卸売業(17.9%)などで上昇が続いている。
- ・先行きは、上昇幅はやや和らぐものの、製造業・商業ともに上昇基調が続く見通し。

【製・商品・サービス・請負価格BSI推移】



生産・売上高 工事施工高	実績						予測						
	2023年7~9月期			2023年10~12月期			2024年1~3月期			2024年4~6月期			
	B.S.I	増加	減少	B.S.I	増加	減少	B.S.I	増加	減少	B.S.I	増加	減少	
総計	▲1.5	23.3	26.3	12.8	41.7	16.2	▲4.5	21.5	30.5	5.2	31.8	21.4	
業種別	製造業	▲3.1	21.2	27.4	10.9	37.1	15.3	▲6.5	18.2	31.2	4.2	29.9	21.6
	卸売業	6.8	31.8	18.2	1.2	33.3	31.0	▲1.2	26.2	28.6	4.8	28.6	19.0
	小売業	10.0	40.0	20.0	41.7	83.3	0.0	▲16.7	16.7	50.0	16.7	50.0	16.7
	建設業	▲3.9	23.1	30.8	5.8	30.8	19.2	13.5	30.8	3.8	▲13.5	11.5	38.5
	不動産業	5.0	30.0	20.0	11.1	33.3	11.1	5.6	33.3	22.2	▲11.1	11.1	33.3
	運輸・倉庫業	0.0	23.5	23.5	21.1	52.6	10.5	▲18.4	5.3	42.1	23.7	52.6	5.3
	サービス業	▲7.3	16.7	31.3	24.5	60.5	11.6	▲3.5	30.2	37.2	12.8	44.2	18.6
規模	大企業	7.0	32.7	18.8	16.5	51.1	18.1	5.4	39.4	28.7	3.8	30.4	22.8
	中小企業	▲5.1	19.3	29.4	11.3	37.9	15.4	▲8.6	14.1	31.3	5.8	32.3	20.8

製・商品・ サービス・ 請負価格	実績						予測						
	2023年7~9月期			2023年10~12月期			2024年1~3月期			2024年4~6月期			
	B.S.I	上昇	下降	B.S.I	上昇	下降	B.S.I	上昇	下降	B.S.I	上昇	下降	
総計	11.4	26.5	3.8	11.9	27.9	4.1	7.3	19.6	5.0	9.7	23.1	3.7	
業種別	製造業	9.3	21.3	2.8	8.0	21.2	5.3	5.6	14.7	3.5	6.2	15.9	3.5
	卸売業	24.5	51.1	2.2	17.9	42.9	7.1	15.5	33.3	2.4	17.9	38.1	2.4
	小売業	16.7	33.3	0.0	20.9	41.7	0.0	16.7	33.3	0.0	16.7	33.3	0.0
	建設業	7.7	26.9	11.5	15.4	34.6	3.8	7.7	26.9	11.5	5.8	26.9	15.4
	不動産業	5.0	10.0	0.0	6.3	12.5	0.0	0.0	11.1	11.1	5.6	11.1	0.0
	運輸・倉庫業	11.8	23.5	0.0	10.6	21.1	0.0	2.6	10.5	5.3	13.2	26.3	0.0
	サービス業	8.4	25.0	8.3	19.1	38.1	0.0	7.0	23.3	9.3	15.2	32.6	2.3
規模	大企業	9.4	21.6	2.9	12.8	28.7	3.2	8.0	19.1	3.2	9.0	22.3	4.3
	中小企業	12.3	28.7	4.2	11.6	27.6	4.4	7.1	19.8	5.7	9.9	23.3	3.5

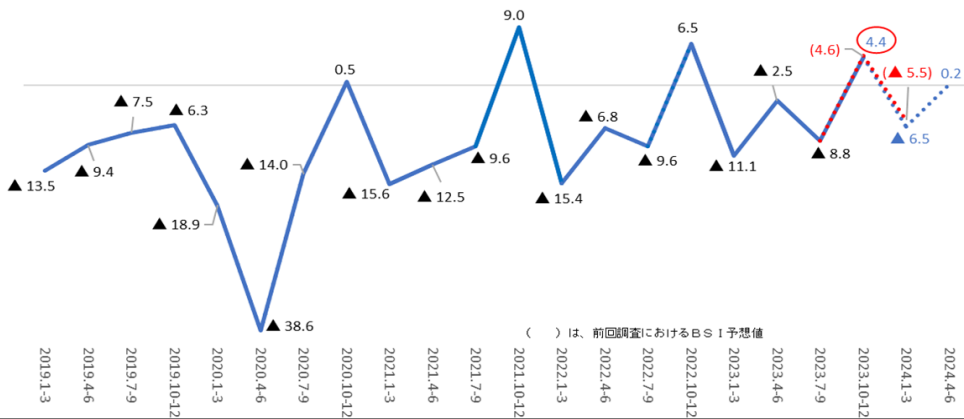
3 経常利益

2023年10~12月期 (実績) 4.4	2024年1~3月期 (見込) ▲6.5	2024年4~6月期 (見込) 0.2
--------------------------	-------------------------	------------------------

《2023年10~12月期BSI値》

- ・今期のBSI値は4.4と、2022年10~12月期以来4期ぶりにプラスに転じ、特に小売業（25.0）やサービス業（17.5）で大きく増加した。
- ・大企業（5.4）、中小企業（4.0）ともに改善した。
- ・先行きは、業種によってまだら模様となり、2024年1~3月期は▲6.5と再び減少し、4~6月期は0.2と、ほぼ横ばいで推移する見通し。

【経常利益BSI推移】



経常利益	実績						予測						
	2023年7~9月期			2023年10~12月期			2024年1~3月期			2024年4~6月期			
	B.S.I	増加	減少	B.S.I	増加	減少	B.S.I	増加	減少	B.S.I	増加	減少	
総計	▲ 8.8	16.0	33.5	▲ 4.4	31.8	23.1	▲ 6.5	17.8	30.8	0.2	22.2	21.9	
業種別	製造業	▲ 7.0	16.7	30.6	▲ 2.7	28.8	23.5	▲ 9.2	13.5	31.8	▲ 0.6	18.9	20.1
	卸売業	▲ 6.8	18.2	31.8	▲ 6.0	23.8	35.7	▲ 2.4	21.4	26.2	0.0	21.4	21.4
	小売業	▲ 10.0	13.3	33.3	25.0	50.0	0.0	▲ 12.5	16.7	41.7	12.5	33.3	8.3
	建設業	▲ 18.0	8.0	44.0	▲ 8.0	12.0	28.0	0.0	20.0	20.0	▲ 24.0	0.0	48.0
	不動産業	5.0	30.0	20.0	11.1	33.3	11.1	5.6	33.3	22.2	▲ 11.1	11.1	33.3
規模	運輸・倉庫業	▲ 16.7	5.6	38.9	12.5	45.0	20.0	▲ 20.0	0.0	40.0	15.0	40.0	10.0
	サービス業	▲ 12.2	17.8	42.2	17.5	51.2	16.3	1.2	34.9	32.6	9.3	39.5	20.9
	大企業	▲ 4.5	23.8	32.7	5.4	36.2	25.5	4.8	36.2	26.6	0.5	24.7	23.7
中小企業	▲ 10.6	12.7	33.9	4.0	30.0	22.0	▲ 11.3	10.1	32.6	0.0	21.1	21.1	

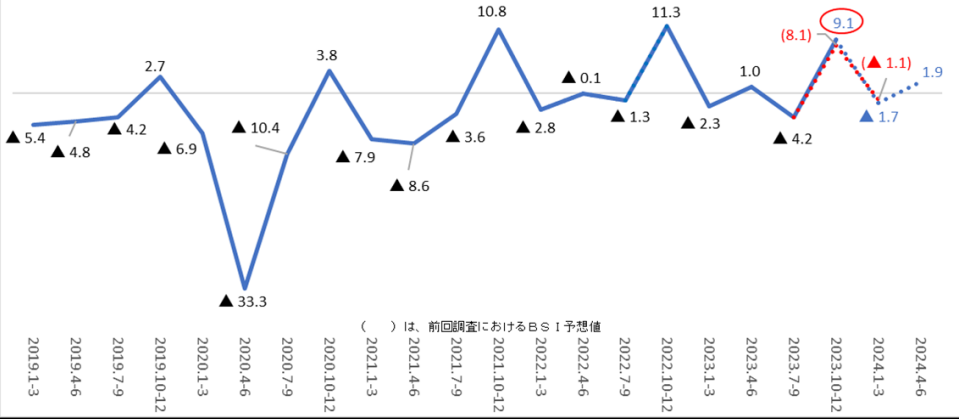
4 所定外労働時間

2023年10~12月期 (実績) 9.1	2024年1~3月期 (見込) ▲1.7	2024年4~6月期 (見込) 1.9
--------------------------	-------------------------	------------------------

《2023年10~12月期BSI値》

- ・今期のBSI値は9.1と、不動産業を除く全ての業種で増加し、特に運輸・倉庫業（25.0）、小売業（20.9）、サービス業（16.3）で大幅に上昇した。
- ・先行きは、業種によって差はあるものの、全体としては2024年1~3月期にかけてマイナスとなり、その後は小幅な推移に留まる見通し。

【所定外労働時間BSI推移】



所定外労働時間	実績						予測						
	2023年7~9月期			2023年10~12月期			2024年1~3月期			2024年4~6月期			
	B.S.I	増加	減少	B.S.I	増加	減少	B.S.I	増加	減少	B.S.I	増加	減少	
総計	▲ 4.2	10.1	18.5	9.1	26.6	8.4	▲ 1.7	14.1	17.5	1.9	16.6	12.8	
業種別	製造業	▲ 4.5	8.5	17.5	6.5	23.7	10.7	▲ 2.4	11.2	16.0	1.2	13.6	11.2
	卸売業	2.3	15.9	11.4	2.4	14.3	9.5	1.2	14.3	11.9	▲ 2.4	7.1	11.9
	小売業	0.0	13.3	13.3	20.9	41.7	0.0	▲ 8.4	8.3	25.0	0.0	16.7	16.7
	建設業	▲ 6.0	12.0	24.0	10.0	28.0	8.0	12.0	32.0	8.0	▲ 10.0	8.0	28.0
	不動産業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6	11.1	0.0	▲ 5.6	0.0	11.1
規模	運輸・倉庫業	▲ 8.3	5.6	22.2	25.0	55.0	5.0	▲ 22.5	10.0	55.0	15.0	45.0	15.0
	サービス業	▲ 8.4	12.5	29.2	16.3	37.2	4.7	0.0	18.6	18.6	11.7	32.6	9.3
	大企業	1.6	15.3	12.2	5.9	23.4	11.7	0.5	20.2	19.1	0.0	14.9	14.9
中小企業	▲ 6.5	8.0	21.0	10.4	27.9	7.1	▲ 2.7	11.5	16.8	2.7	17.3	11.9	

5 製・商品在庫

2023年10~12月期 (実績)

7. 1

2024年1~3月期 (見込)

7. 4

2024年4~6月期 (見込)

5. 1

《2023年10~12月期BSI値》

- ・今期のBSI値は7.1と過剰傾向で推移した。製造業(6.9)、商業(8.0)とも過剰感が強まり、特に卸売業(9.0)で過剰感が増した。
- ・先行きは、商業は2024年1~3月期に過剰度合いが増すものの、4~6月期にかけて製造業、商業とも過剰度合いはやや緩和する見込み。

【製・商品在庫BSI推移】



製・商品 在庫	実 績						予 測						
	2023年7~9月期			2023年10~12月期			2024年1~3月期			2024年4~6月期			
	B.S.I	過 剰	不 足	B.S.I	過 剰	不 足	B.S.I	過 剰	不 足	B.S.I	過 剰	不 足	
総 計	5.6	16.7	5.6	7.1	18.8	4.6	7.4	16.1	1.4	5.1	11.0	0.9	
業 種 別	製造業	6.6	17.6	4.5	6.9	18.5	4.8	6.6	14.9	1.8	4.8	10.7	1.2
	卸売業	2.3	15.9	11.4	9.0	23.1	5.1	11.6	23.1	0.0	7.7	15.4	0.0
	小売業	3.9	7.7	0.0	4.6	9.1	0.0	4.6	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0
規 模	大企業	6.8	18.6	5.1	10.9	21.8	0.0	6.4	12.7	0.0	4.6	9.1	0.0
	中小企業	5.2	16.1	5.7	5.9	17.8	6.1	7.7	17.2	1.8	5.3	11.7	1.2

6 資金繰り

2023年10~12月期 (実績)

0. 5

2024年1~3月期 (見込)

▲3. 2

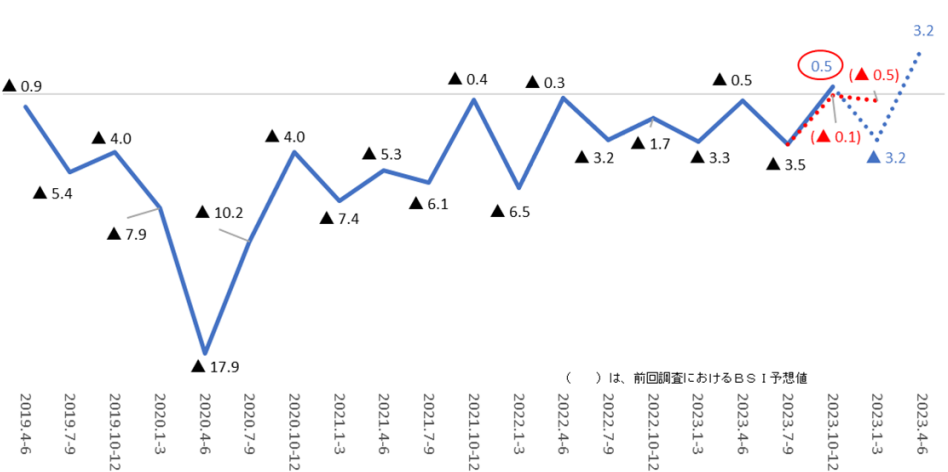
2024年4~6月期 (見込)

3. 2

《2023年10~12月期BSI値》

- ・今期のBSI値は0.5と、小幅ながら2018年4~6月期以来のプラスとなった。小売業(12.5)などで改善したものの、卸売業(▲8.3)などで悪化し、全体としてはほぼ横ばいで推移した。
- ・先行きは、2024年1~3月期に再び悪化するものの、4~6月期は3.2と、改善への期待感が強まる見通し。

【資金繰りBSI推移】



資金繰り	実 績						予 測						
	2023年7~9月期			2023年10~12月期			2024年1~3月期			2024年4~6月期			
	B.S.I	改 善	悪 化	B.S.I	改 善	悪 化	B.S.I	改 善	悪 化	B.S.I	改 善	悪 化	
総 計	▲3.5	4.4	11.4	0.5	10.3	9.4	▲3.2	5.9	12.2	3.2	12.2	5.9	
業 種 別	製造業	▲4.8	3.3	12.8	▲0.9	8.3	10.1	▲3.3	4.7	11.2	0.0	7.6	7.6
	卸売業	▲5.6	0.0	11.1	▲8.3	2.4	19.0	▲8.4	0.0	16.7	3.6	16.7	9.5
	小売業	0.0	6.7	6.7	12.5	33.3	8.3	4.2	16.7	8.3	8.4	16.7	0.0
	建設業	2.0	8.0	4.0	▲2.0	4.0	8.0	▲2.0	12.0	16.0	4.0	12.0	4.0
	不動産業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	運輸・倉庫業	2.8	5.6	0.0	5.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
規 模	大企業	▲4.2	10.4	18.8	10.7	26.2	4.8	▲2.4	14.3	19.0	15.5	33.3	2.4
	中小企業	▲0.5	6.9	7.9	3.9	12.0	4.3	1.1	8.6	6.5	4.9	12.9	3.2

IV 当面の経営上の問題点

調査結果のまとめ

「原材(燃)料高」は回答率が減少するも9期連続で第1位 人材確保・人件費負担に関する課題の回答率が増加

■ 当面の経営上の問題点

- ・「原材(燃)料高 (53.9%)」が前期に比べて回答率は減少したものの、9期連続の第1位となった。一方で、第2位の「求人難 (45.2%)」や第4位の「人件費負担増大 (27.2%)」、第5位の「技能労働者不足 (14.9%)」など、人材確保や人件費負担に関する課題の回答率が前期に比べて増加した。

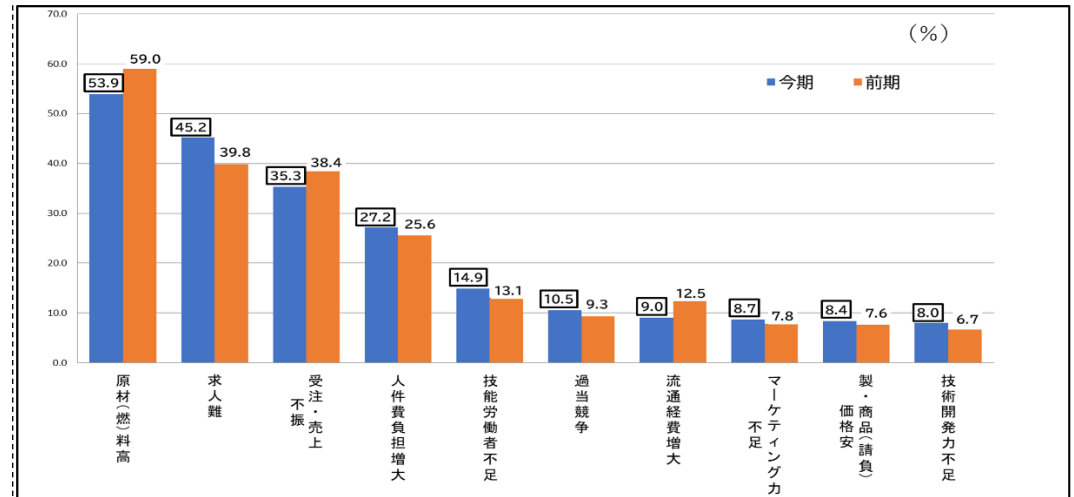
- 第1位は「原材(燃)料高」(53.9%) (前期実績59.0%)
- 第2位は「求人難」(45.2%) (前期実績39.8%)
- 第3位は「受注・売上不振」(35.3%) (前期実績38.4%)
- 第4位は「人件費負担増大」(27.2%) (前期実績25.6%)
- 第5位は「技能労働者不足」(14.9%) (前期実績13.1%)

≪業種別≫

- ・「原材(燃)料高」は依然として運輸・倉庫業 (75.0%)、製造業 (64.1%) で回答が多かった。
- ・「求人難」はサービス業 (74.4%)、運輸・倉庫業 (65.0%)、小売業 (50.0%) の順に回答が多く、いずれの回答率も前期を上回った。
- ・「受注・売上不振」は建設業 (50.0%) で最も回答が多く、小売業 (41.7%)、卸売業 (39.5%) と続いた。

≪規模別≫

- ・規模を問わず「求人難」の回答率が前期と比べ増加し、中小企業では前期第2位の「受注・売上不振」を上回り、順位が入れ替わった。



当面の経営上の問題点		第1位 (%)	第2位 (%)	第3位 (%)
総計		原材(燃)料高 53.9	求人難 45.2	受注・売上不振 35.3
規模別	大企業	原材(燃)料高 52.1	求人難 51.1	受注・売上不振 26.6
	中小企業	原材(燃)料高 54.6	求人難 42.8	受注・売上不振 38.9
業種別	製造業	原材(燃)料高 64.1	受注・売上不振 39.4	求人難 38.2
	卸売業	原材(燃)料高 41.9	受注・売上不振、求人難 39.5	
	小売業	人件費負担増大、求人難 50.0		受注・売上不振 41.7
	建設業	受注・売上不振 50.0	原材(燃)料高、技能労働者不足 42.3	
	不動産業	受注・売上不振、求人難 33.3		取引条件の問題、原材(燃)料高 人件費負担の増大、法的規制 22.2
	運輸・倉庫業	原材(燃)料高 75.0	求人難 65.0	人件費負担増大 45.0
	サービス業	求人難 74.4	人件費負担増大 46.5	原材(燃)料高 39.5

V 企業の現況

原材料価格の高騰は続くも、上昇幅は4期連続で縮小 民間工事の需要回復に伴い、建設業の受注高は15期ぶりに増加

■ 操業率（製造業）≪2023年10～12月期≫

「上昇」 26.1%（前期実績13.5%）

「下降」 11.2%（前期実績17.2%）

B S I 値 7.5 （前期実績▲1.9）

- ・前期のおよそ2倍の企業が上昇と回答し、B S I 値は7.5と着実に上昇した。

■ 受注残（製造業）≪2023年10～12月期≫

「増加」 18.6%（前期実績16.0%）

「減少」 19.9%（前期実績20.2%）

B S I 値 ▲0.6 （前期実績▲2.1）

- ・繊維製品、窯業・土石などで大きく上昇する一方、鉄鋼、精密機械などで大きく減少するなど、取扱品目によって期待感に差が見られ、全体としては▲0.6とほぼ横ばいで推移した。

■ 受注高（建設業）≪2023年10～12月期≫

「増加」 29.2%（前期実績30.4%）

「減少」 25.0%（前期実績30.4%）

B S I 値 2.1 （前期実績 0.0）

- ・前期に引き続き民間工事が増加し、公共工事の減少幅が縮小したことにより、B S I 値は2.1と15期ぶりに増加した。

■ 原材料価格（製造業、建設業）≪2023年10～12月期≫

「上昇」 66.9%（前期実績69.4%）

「下降」 2.2%（前期実績 0.0%）

B S I 値 32.4 （前期実績34.7）

- ・製造業では染織、食料品などで上昇幅が大きく、建設業も上昇が続きB S I 値は32.4と依然高水準となったものの、上昇幅は4期連続で縮小した。

	2021年		2022年				2023年			
	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期
操業率(製造業)	1.3	12.4	▲0.9	1.7	2.8	9.0	▲0.6	0.3	▲1.9	7.5
受注残(製造業)	0.8	8.0	▲0.6	▲1.4	2.6	4.6	▲3.2	▲2.8	▲2.1	▲0.6
受注高(建設業)	0.0	▲5.2	▲10.0	▲9.5	▲1.8	▲4.2	▲2.0	▲12.5	0.0	2.1
内 公共工事	▲18.0	▲3.6	▲16.0	▲8.4	▲6.9	▲8.7	▲4.0	▲20.9	▲15.4	▲6.3
民間工事	▲8.0	▲5.0	▲10.0	▲8.4	▲5.2	▲8.7	▲8.0	▲8.0	5.8	4.0
原材料価格(製造業、建設業)	29.3	39.0	40.4	46.3	43.0	43.8	41.5	35.9	34.7	32.4

VI 調査企業からのコメント

- ・円安が国内景気に好影響を与えている。(食料品製造)
- ・国内外の景気、業況の先行きが見通せず苦労している。(食料品製造)
- ・業界全体が地盤沈下しており、事業の改善を模索している。(繊維製造)
- ・政府による迅速な景気対策を希望する。(繊維製造)
- ・着物の消費者が高齢化して、次の世代が育っていない。(繊維製造)
- ・原材(燃)料高の影響が大きく、国の対策が必要。(染色)
- ・中国の景気回復を期待したい。(化学・ゴム)
- ・世界情勢の悪化でどのような変化が訪れるのか判断できない。非常に危機感を持っている。(化学・ゴム)
- ・インボイス対応や電帳法対応など、法改正による事務負担が増大しており対策を検討中。(出版・印刷)
- ・インボイスなど労力と費用がかかり、利益につながらない出費が多い。(食料品卸)
- ・正社員が不足しており、売上を増やせない。(食料品卸)
- ・物価高騰のペースが速く、価格転嫁が追い付かない。(繊維卸)
- ・すべてにおいて物価が上がっているため、売上は変わらずとも利幅が減ってしまう。(小売業)
- ・インバウンドと国内観光客増加により卸売は順調。一方、不景気と売値が上がったことにより小売は難しくなっている。(小売業)
- ・今後の景気動向が不安。(建設業)
- ・大阪・関西万博による受注増に期待している。(建設業)
- ・土工の技術者不足で改修工事が延期になり、他の仕事にも影響している。(建設業)
- ・建設業界では、働き方改革に早期に対応しなければ、若手入職者が増えず、建設事業者が激減していく危機感を覚える。(建設業)
- ・2024年問題、運転士不足、高齢化の影響が大きい。(運輸・倉庫業)
- ・各業界、自動化やDX推進のスピードで将来が決まるように感じる。(運輸・倉庫業)
- ・外食産業としての売上は、インバウンドの増も含め、コロナ禍より回復しているが、人員の確保がやはり課題である。(料理・飲食)
- ・インバウンドの増加等による宿泊需要の高まりが見られる一方、婚礼市場の縮小等、ホテル全体としては依然コロナ前の水準に至っていない状況が続いている。(旅館・ホテル)

Ⅶ 新卒採用活動について

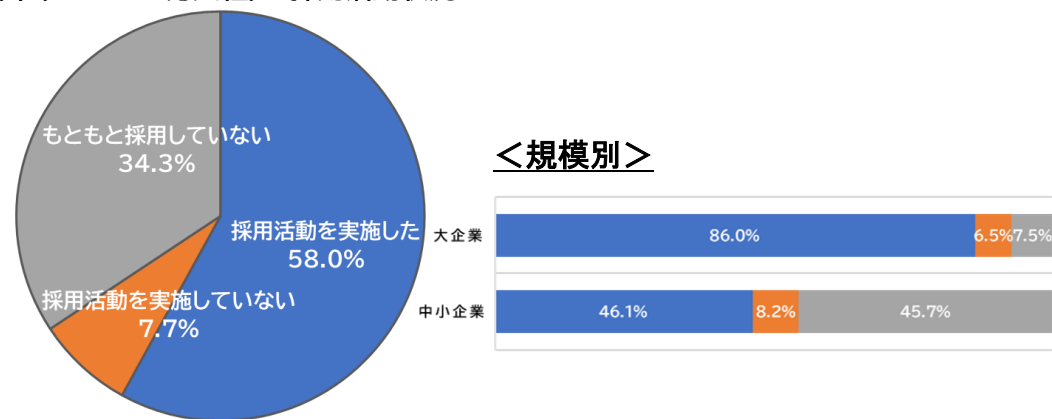
付帯調査①

新卒採用活動を実施した企業は58.0%と微増 予定どおりの採用ができた企業はおよそ3割

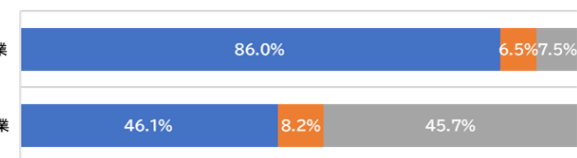
1 新卒採用(2024年4月入社)の採用活動状況<単一回答>

- ・新卒採用活動については、回答企業の58.0%が「採用活動を実施した」と回答しており、昨年度同時期の調査結果(57.2%)より微増した。また、「採用活動を実施していない」企業は7.7%と、昨年度(4.0%)の倍に近い結果となった。
- ・規模別では、「実施した」と回答した企業は大企業で86.0%(昨年度83.0%)、中小企業で46.1%(昨年度45.9%)と、ともに若干増加した。「実施していない」と回答した企業は大企業で6.5%(昨年度1.9%)、中小企業で8.2%(昨年度5.0%)と、大企業で特に増加した。
- ・業種別では、特に小売業(83.3%)、建設業(76.9%)、サービス業(65.1%)において、「実施した」と回答した企業が多い結果となった。「実施していない」の回答は運輸・倉庫業(5.3%)を除くすべての業種で昨年度より増加した。

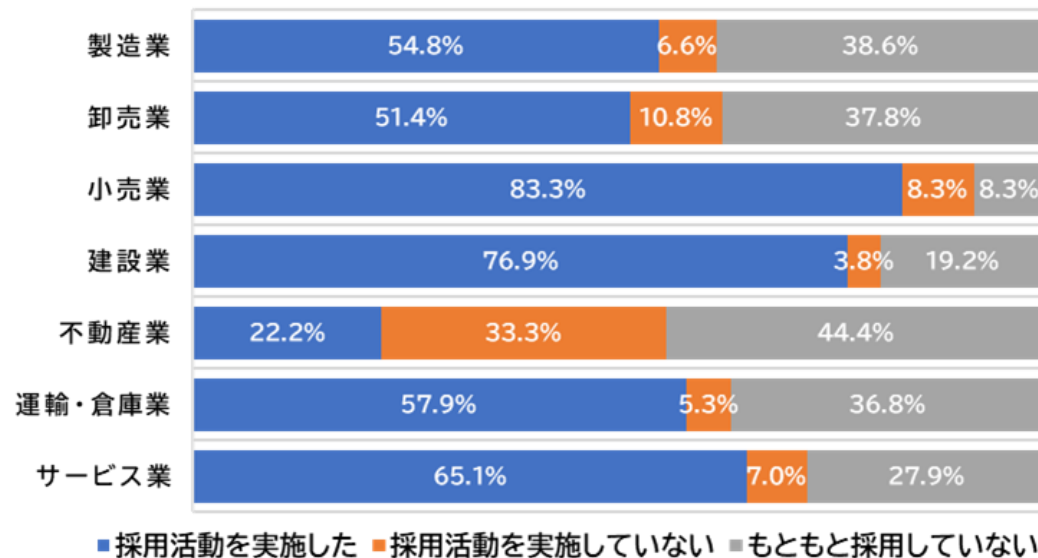
新卒(2024.4月入社)の採用活動状況



<規模別>



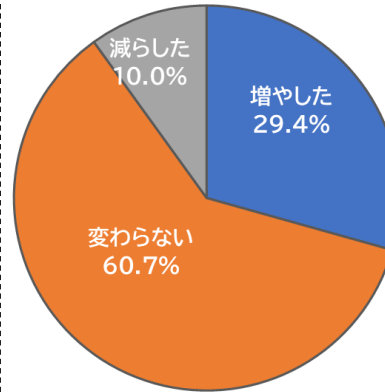
<業種別>



2 今年度(2023年度)と比較した来年度(2024年度)の新卒採用の予定人数

- ・第1問で「実施した」と回答した企業のうち、来年度の採用の予定人数について、「増やした」の回答は29.4%と、昨年度(36.2%)より減少した。一方、「変わらない」が60.7%(昨年度56.6%)、「減らした」が10.0%(昨年度7.1%)と、ともに昨年度より増加した。
- ・規模別では、「増やした」の回答で大企業(37.6%)が中小企業(23.3%)を大きく上回った。
- ・業種別では、「増やした」の回答率は卸売業(40.9%)で最も多く、「減らした」の回答は運輸・倉庫業(25.0%)で最も多かった。

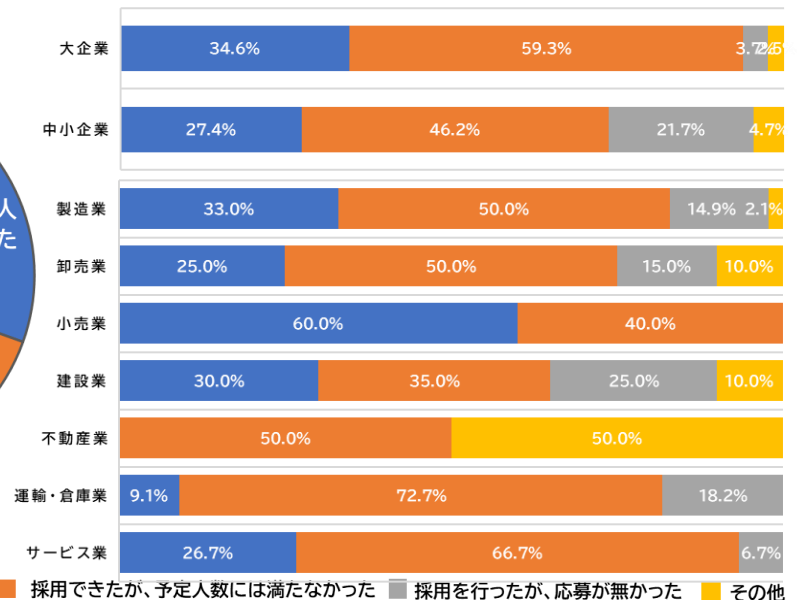
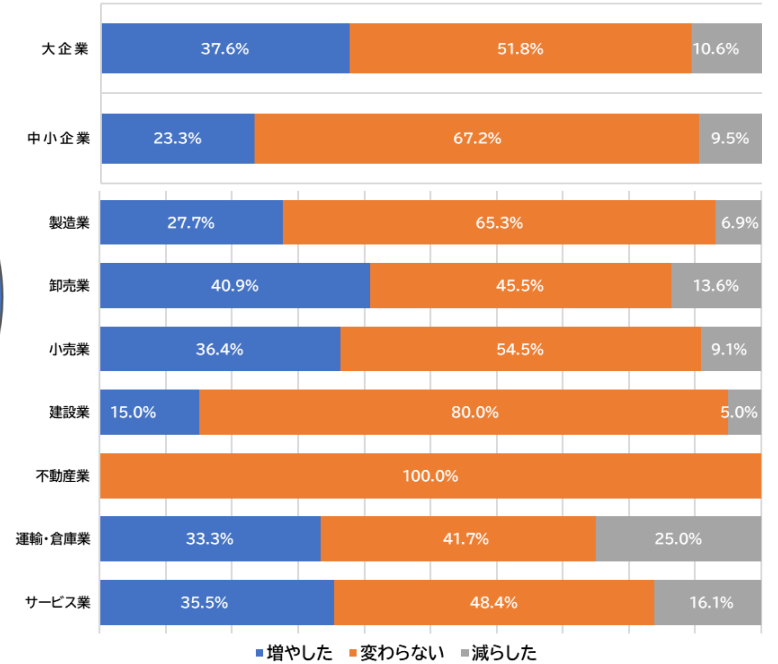
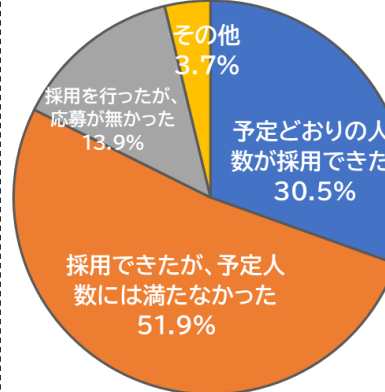
今年度と比較した
来年度の新卒採用予定人数



3 新卒採用の充足状況

- ・第1問で「実施した」と回答した企業のうち、「予定どおりの人数が採用できた」と回答した企業は30.5%と、昨年度(38.4%)より減少した。「採用できたが、予定人数には満たなかった」(51.9%)、「採用を行ったが、応募が無かった」(13.9%)と回答した企業の合計は65.8%となり、採用を予定どおり行えなかった企業は昨年度(54.0%)より増加した。
- ・業種別では、「予定通りの人数が採用できた」の回答は、小売業(60.0%)が突出して多く、採用を予定どおり行えなかった企業は運輸・倉庫業(90.9%)で最も多かった。

新卒採用の充足状況



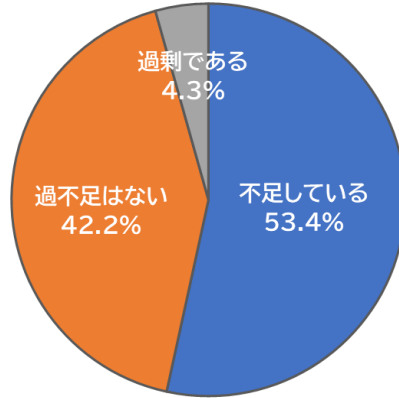
付帯調査②

正規雇用者、非正規雇用者ともに大企業での不足が顕著 労働市場でのミスマッチ解消や人件費高騰への対応が課題

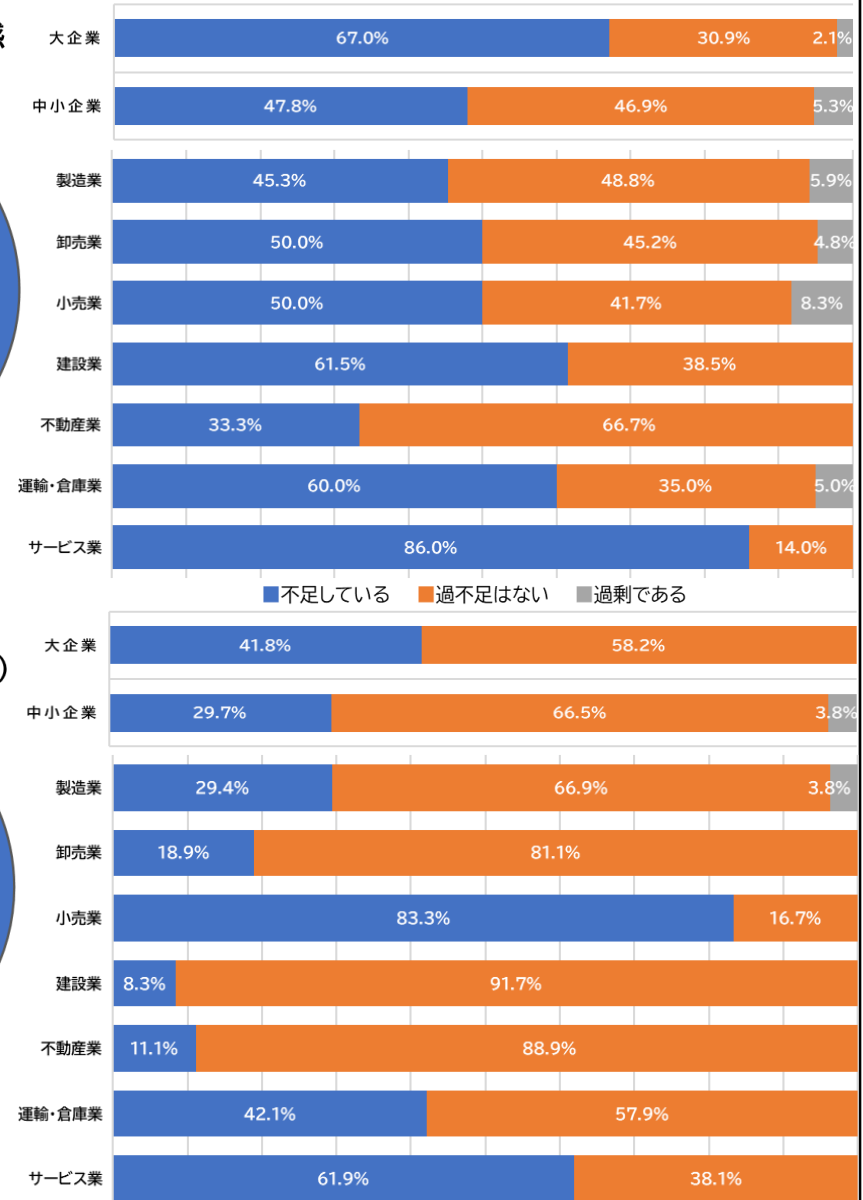
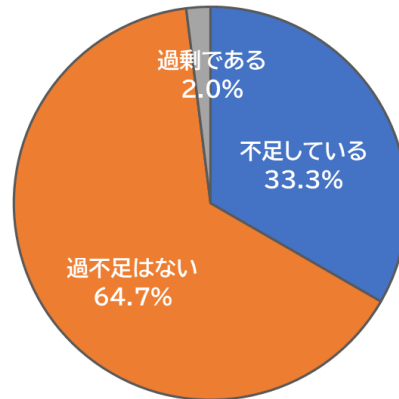
1 現行の雇用形態ごとの充足感（2023年11月時点）

- 雇用形態ごとの充足感について、正規雇用者が「不足している」と回答した企業は53.4%と、半数を超えた。一方、非正規雇用者が「不足している」と回答した企業は33.3%と、およそ3分の1の回答に留まった。回答の構成比率は、正規雇用者、非正規雇用者ともに昨年度と大きな差はなかった。
- 規模別に見ると、正規／非正規を問わず、大企業で「不足している」と回答した企業が多く、中小企業に比べて大企業での人手不足が顕著な状況となっている。
- 業種別に見ると、正規雇用者が「不足している」企業はサービス業（86.0%）が最も多く、建設業（61.5%）、運輸・倉庫業（60.0%）と続いた。非正規雇用者の不足感の小売業（83.3%）が最も多く、次いでサービス業（61.9%）、運輸・倉庫業（42.1%）となった。

現行の雇用形態ごとの充足感
（正規雇用者）



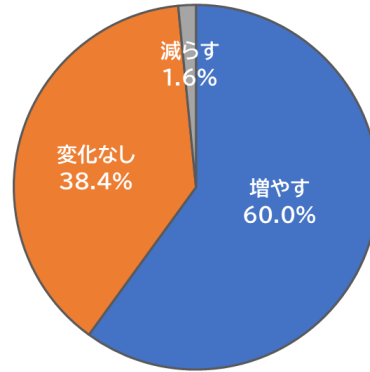
現行の雇用形態ごとの充足感
（パート・アルバイト等 非正規雇用者）



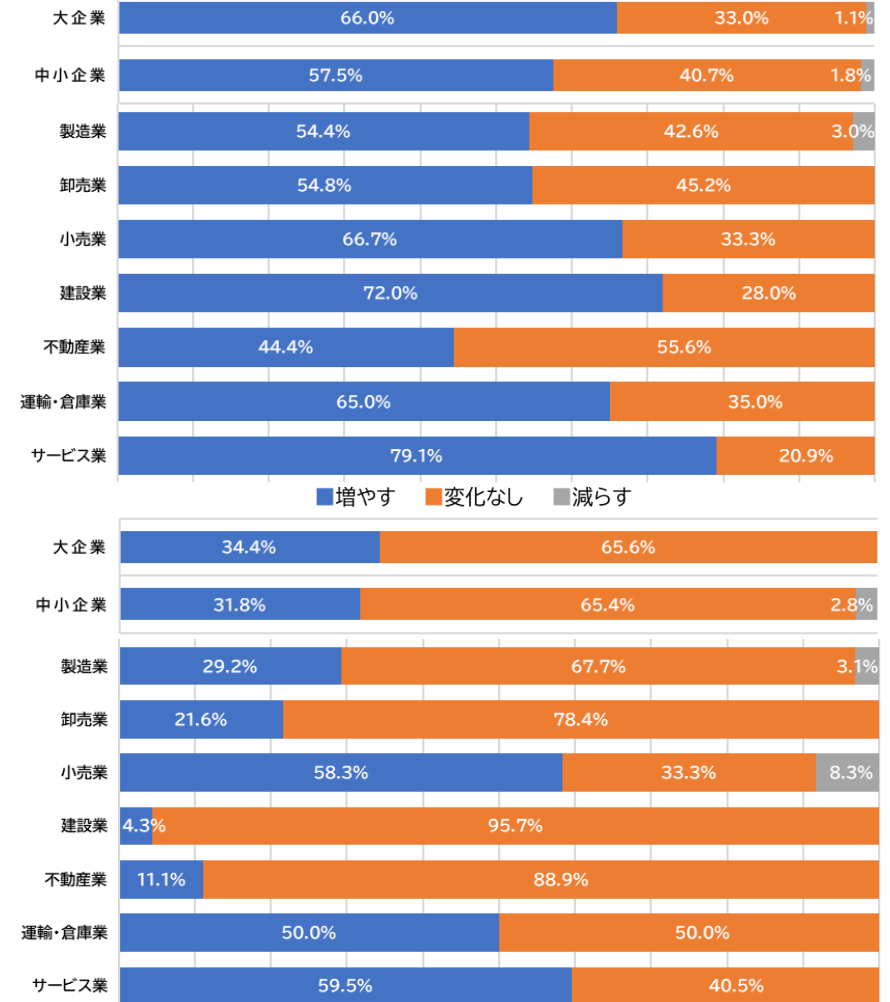
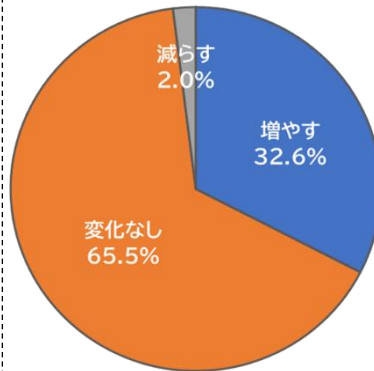
2 今後の雇用・採用計画の方向性

- ・今後の雇用・採用計画について、正規雇用者を「増やす」と回答した企業は60.0%（昨年度54.1%）、非正規雇用者を「増やす」と回答した企業は32.6%（昨年度33.2%）となった。正規、非正規雇用者とも「減らす」と回答した企業はわずかであり、いずれも昨年度より減少した。
- ・業種別に見ると、正規雇用者を「増やす」と回答したのはサービス業（79.1%）が最も多く、次いで建設業（72.0%）、小売業（66.7%）となった。非正規雇用者を「増やす」と回答したのはサービス業（59.5%）が最も多く、小売業（58.3%）、運輸・倉庫業（50.0%）と続いた。

今後の雇用・採用計画の方向性
(正規雇用者)



今後の雇用・採用計画の方向性
(パート・アルバイト等 非正規雇用者)



※今後の雇用・採用計画の方向性

<増減の理由：コメント>

○ 増加の要因

- ・コロナ禍からの急速な回復に対応するため
- ・社員高齢化により、若手社員が不足するため
- ・会社規模の拡大に備えるため

- ・新規顧客獲得のための営業人員確保
- ・正社員の不足をパート労働者で補うため
- ・働き方改革（完全週休2日制）を実現するため

○ 減少の要因

- ・売上回復の時期が不透明であり、リスク回避のため

- ・受注減による固定費の圧迫を解消するため

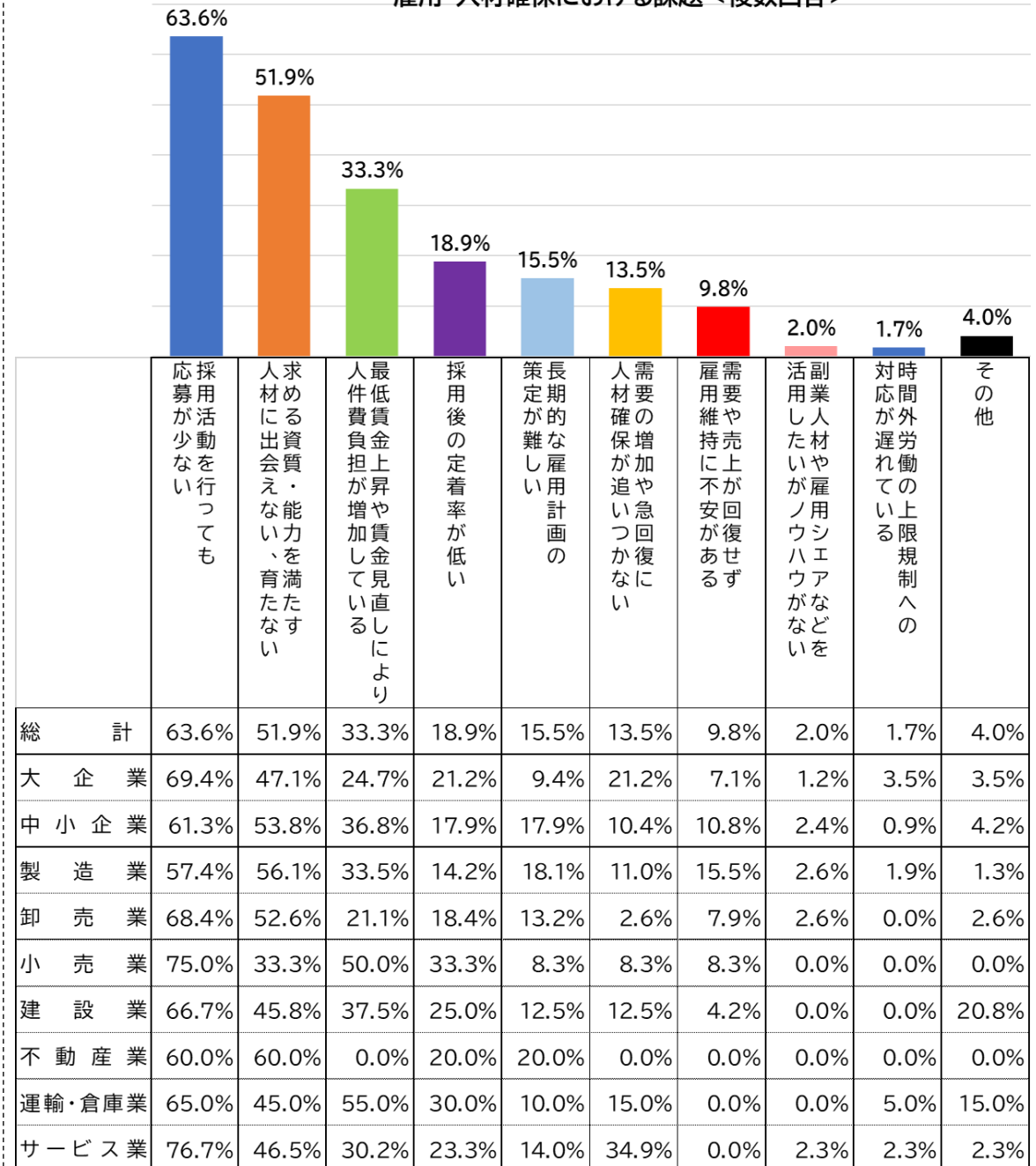
3 雇用・人材確保における課題<複数回答>

・雇用・人材確保の課題は、回答数が多い順に下記のとおりとなった。

- 第1位 「採用活動を行っても応募が少ない」 (63.6%)
- 第2位 「求める資質・能力を満たす人材に出会えない、育たない」 (51.9%)
- 第3位 「最低賃金上昇や賃金見直しにより人件費負担が増加している」 (33.3%)
- 第4位 「採用後の定着率が低い」 (18.9%)
- 第5位 「長期的な雇用計画の策定が難しい」 (15.5%)

- ・「採用活動を行っても応募が少ない」、「求める資質・能力を満たす人材に出会えない、育たない」の上位2つはどちらも回答企業の半数以上が選択しており、求人難や人材育成の課題に多くの企業が苦慮している。
- ・「最低賃金上昇や賃金見直しにより人件費負担が増加している」はおよそ3分の1の企業の回答により第3位となった。大企業に比べて中小企業の回答率が高く、多くの企業にとって人件費負担の増加が課題となっている。
- ・業種別に見ると、応募の少なさを課題とする回答は小売業、サービス業で多かった。人件費負担の増加と定着率の低さはいずれも小売業、運輸・倉庫業で多く回答があった。また、需要増に対する人材不足を回答した割合はサービス業が突出して高く、3分の1以上の企業が課題と認識している。

雇用・人材確保における課題<複数回答>



4 自社・業界の具体的な課題や必要な支援施策について<自由記述>

- ・パート社員に係る年収の壁への対応。(食料品製造)
- ・コスト面を含めた安定的な物流の確保と維持、高齢化等による職人の廃業等に伴うものづくり体制維持への危機。(繊維製造)
- ・職員の高齢化、若手がない。(染色)
- ・新卒採用の手順がわからない。(化学・ゴム)
- ・交替勤務制にネガティブな印象の方が増えており、働き方を大きく見直す必要がある。(窯業・土石)
- ・人件費アップ、賃上げ対応のための製品価格転嫁へのサポートが必要。(窯業・土石)
- ・BtoB企業の学生への認知度の低さが課題。マッチングの機会を増やす必要がある。(一般機械製造)
- ・時間外労働に係る上限規制は、事業者それぞれ事情が異なるので、一括りに決めず、業界や個々の企業単位で決められるようにしてほしい。(食料品卸)
- ・社会全体に物価高による買い控えの空気を感じる。最低賃金は年々上昇していくが、パートの定着率、習熟度が追い付いていない。(食料品卸)
- ・催事販売というビジネスモデルは毎週のように問屋やメーカーからの応援が入り、若者を中心に営業の人材が定着しづらい。業界全体が催事に偏重したビジネスモデルを見直すべき。(繊維卸)
- ・入社3年未満の定着率が低くなってきた。(機械金属卸)
- ・受注競争激化の中で、働き方改革に伴う賃金増や残業時間削減に対応する必要に迫られ、たいへん厳しい。(建設業)
- ・2024年問題の解決策が見つからない。(運輸・倉庫業)
- ・全体的に人手不足であるが、特に調理部門の欠員が大きな課題となっている。(旅館・ホテル)
- ・スタッフの高齢化による労働災害が増えている。(情報・事業)

卷末資料

調査対象業種の主要製・商品（営業内容）

食料品	……………	清酒、パン、洋菓子、和菓子、調味料等	出版・印刷	……………	印刷・製本、出版、紙製品等
繊維	……………	正絹着尺、帯地等	その他製造業	……………	毛皮、洋傘、マネキン、ゲーム機器、扇子、薫香等
染色	……………	機械染色整理、スクリーン染色、型染友禅、手描友禅等	食料品卸	……………	清酒、洋酒、洋菓子、和菓子、調味料、砂糖、缶詰等
繊維製品	……………	ネクタイ、肌着、レース、リボン、クロス等	繊維卸	……………	白生地、染呉服、帯地、和装小物等
化学・ゴム	……………	界面活性剤、染料、顔料、医薬品、ゴム等	機械金属卸	……………	自動車、家電製品、鋼材、工具、電気機器、工作機械等
窯業・土石	……………	電磁気、砥石、ガラス、生コンクリート、セメント等	小売業	……………	百貨店、スーパー、専門店等
鉄鋼	……………	鉄鉄铸件等	建設業	……………	総合工事業等
非鉄	……………	伸銅品、黄銅棒、アルミ合金、鍍金、金属加工等	不動産業	……………	不動産賃貸、建売、土地売買、代理業・仲介業等
一般機械	……………	車体、内燃機関、繊維・染色機械、工作機械等	運輸・倉庫業	……………	鉄道、道路旅客運送、貨物運送、倉庫業等
電気機械	……………	配電板、配線板、スイッチ、コンデンサ、電池、電子部品等	料理・飲食	……………	料理・飲食（観光地）等
精密機械	……………	計量機、分析機、試験機、レントゲン、医療機器等	旅館・ホテル	……………	旅館・ホテル等
木材・木製品	……………	製材、建材、家具等	情報・事業	……………	情報サービス、調査、広告、事業サービス等
			その他サービス業	……………	洗たく・理容、娯楽、自動車整備、駐車場、個人サービス等